

科目名	不動産登記法	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			法律学科	□必修 ■選択	
			学科	□必修 □選択	
英文表記	Real Property Registration Act	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年		
		開講期間	□前期 □後期 ■通年 □集中		
ふりがな	ふじわら しんえつ	実務家教員担当科目	○	修得単位	4単位
担当者名	藤原 信悦	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	不動産登記法の全体的理解				
到達目標	不動産登記の取引社会における役割の重要性を理解できるようになること。				
授業概要	毎回レジメを配布する。				
授業計画					
第1回	2種類の不動産登記	第17回	登記簿の公開		
第2回	権利に関する登記と民法177条	第18回	登録免許税		
第3回	表示に関する登記の重要性	第19回	登記原因証明情報		
第4回	不動産登記法14条地図(地図に準ずる図面)	第20回	登記識別情報		
第5回	地積測量図	第21回	登記申請と本人確認		
第6回	土地の測量法の進化(世界測地系)	第22回	土地の一部の取得と登記方法		
第7回	筆界特定の意義と筆界確定請求訴訟の関係	第23回	相続と登記		
第8回	区分所有建物の特則	第24回	遺産分割と登記		
第9回	表示に関する登記の登記事項	第25回	農地の登記		
第10回	登記簿 登記所 登記官	第26回	仮登記		
第11回	登記申請の原則(申請のデジタル化)	第27回	民法94条2項の類推適用と登記		
第12回	登記申請の審査方法	第28回	登記申請手続の基本的構造		
第13回	申請の却下事由	第29回	不動産登記の公信力の問題		
第14回	申請却下に対する救済方法	第30回	不動産登記制度の今後の動向		
第15回	前期のまとめ	第31回	後期のまとめ		
第16回	前期定期試験	第32回	後期定期試験		
授業時間外の学習	特になし				
履修条件 受講のルール	①出席回数確保 ②静粛				
テキスト	特になし				
参考文献・資料					
成績評価の方法	前後期の成績を合算し表基準にしたがって評価する。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。				
オフィスアワー					
成績評価の基準	秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)				
実務経験及び実務を活かした授業内容	実務経験上、注意すべき点を踏まえながら、理解しておくべき点を重点的に講義を行う。				
学生へのメッセージ	授業は可能な限り出席すること、出席率と成績には比例関係がある。				